



大庄中だより

令和7年 12月 25日
尼崎市立大庄中学校
校長 米田 正樹 No.8

さあ! 明日から 冬休み

いよいよ13日間の冬休みが始まります。冬休みには、『正月』という節目があります。『1年の計は元旦にあり』のことわざどおり、過ぎた1年を静かに振り返り、来るべき新年の目標を定め、計画を立てるのに最適な休みです。学習面・生活面・体力面のそれぞれに目標を定め、その達成のために努力することのできる冬休みにしましょう。3学期 始業式には、準備万端の皆さんと再会できることを心から楽しみにしています。

始業式 令和8年1月8日(木)

12月11日(木)3,4時間目、3年生対象で「性教育講演会」を行いました。性の多様性について、講師先生の実体験をもとに「誰もが自分らしく生きられる社会」について講演していただきました。話の後の質問コーナーでは、たくさんの生徒が手を挙げて質問をしていました。3年生にとって素晴らしい学習の場でした。



チーム大庄の活躍

○第11回近畿中学校少林寺拳法大会

男子単独演武1級以下 川渕琥輝 2位
男子組演武4級以下 佐渡聰太・野場健慈 1位
女子組演武4級以下 田中瑠美・川上真鈴 5位
団体演武 4位
田中瑠美・川上真鈴・富松怜奈・佐渡聰太・野場健慈



○第77回兵庫県中学校バスケットボール選抜優勝大会

一回戦 VS大久保中(東播地区) ●

3年生球技大会

12月19日(金)あたたかい日差しの中、3年生の球技大会が行われました。男子は「サッカー」女子は「ドッジボール」を行いました。サッカーでは、経験者、未経験者関係なく、お互いにチャレンジすることで、素晴らしい攻防が繰り広げられていました。女子は、女子といっても、かなりのスピード球を投げる生徒もあり、白熱した攻防の中、大きな叫び声が印象的でした。3年生にとって、最後の行事ということもあって、どのクラスも大いに盛り上がって最高の球技大会となりました。

男子:優勝6組 準優勝1組



女子:優勝6組 準優勝4組

部活動で、ぎりぎりで負けてしまったり、最後頑張り切れずに、思った結果にならなかつたりと、自分の本当の力が発揮できなかつた人はいないでしょうか。それはなぜそなつているのでしょうか。

大谷翔平選手はなぜあれだけの選手になったのでしょうか。練習は当たり前ですが、一番有名な話は、どんな時でもごみが落ちていれば拾うことを高校生のころからやっているそうです。MLBの選手になるためにはどのような人物にならないといけないのかという逆算を考えた結果、周りの人に愛される選手になることが必要である。そのためにはどのような行動が必要なのかという考えもあるそうです。また、人が落とした運を拾い集めているということだそうです。

スポーツは、心・技・体とよく言われます。スポーツで結果を出すためには、体と技を磨くのはもちろんですが、それだけでは足りず、心を鍛えることが大切だと言われています。部活動の強いチームがよくやっていることで、朝のトイレ掃除があります。トイレ掃除は誰もが嫌がることですが、それをあえて行うことで、自分の心を鍛えることができるということです。心を磨くことができるのです。そして、学校のためになり、チームが学校から応援されるチームとなっていくのです。

先生は、心を鍛えるためには、「我慢」が大切だと思います。朝早く起きること、汚いトイレをきれいにすること、しんどいことを続けるためには、自分自身の心を鍛えるための「我慢」が必要となります。そして、その我慢ができるからこそ、試合でしんどい時に「楽をしたい」甘い気持ちを押さえて、しんどいけど頑張る気持ち「我慢」の成果が出てることで、チームの勝利に近づくことができます。

皆さんもぜひ「我慢」を実行してみてください。学校のルールを自分がやりたくないからと言って、簡単に「我慢」せずに捻じ曲げて居ませんか。ブレザーのボタンを留めない人、ネクタイをしない人、名札をしない人、おそらくその人は「めんどくさいから」「苦しいから」「自分がしたくないから」と、もっともらしいことを理由で「我慢」をせずに自分にとって楽な方を選んでいます。無理をする必要はありませんが、最低限の「我慢」をすることで、少しづつ心は鍛えられます。ぜひ「我慢」することを日ごろから当たり前にして、自分の本当の力を発揮できるようにしてください。これは受験でも同じです。日ごろから我慢をするからこそ、これだけ我慢して頑張って来たのだからと自信を持って、本番の日を迎えることができるのです。ぜひ、日ごろから、自分の甘い心に負けずに「我慢」に取り組んでください。応援しています。(終業式校長講和より)